

(6)市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

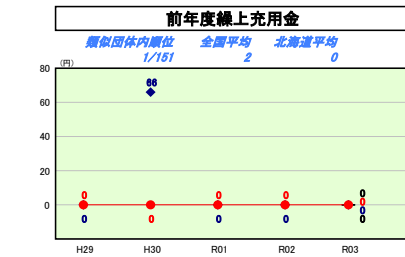
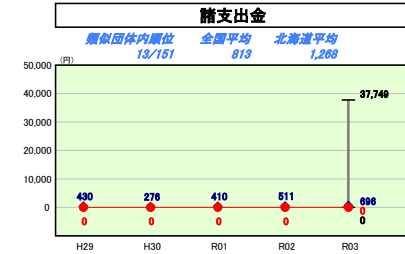
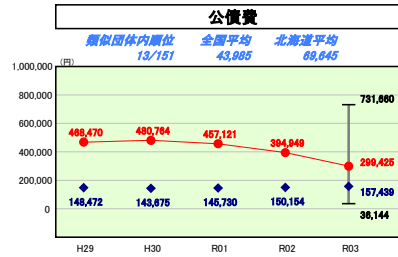
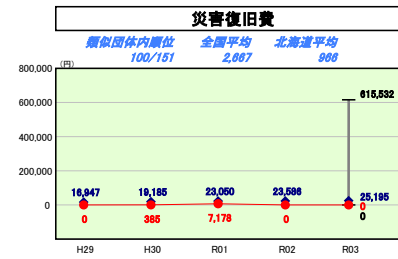
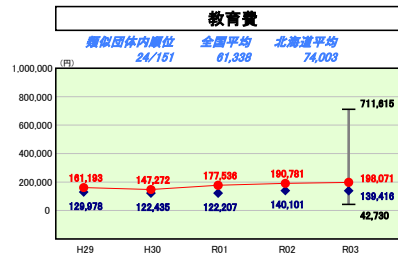
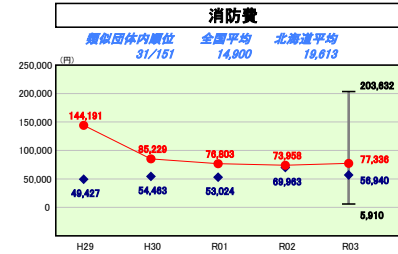
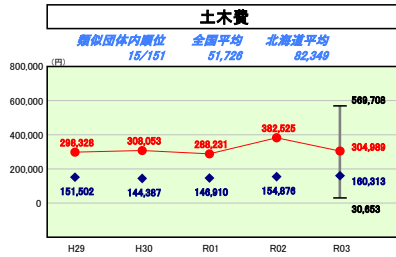
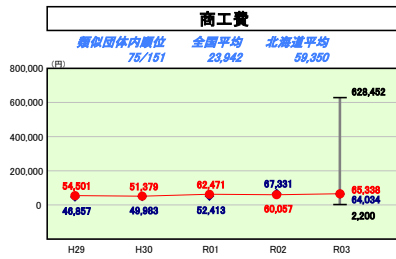
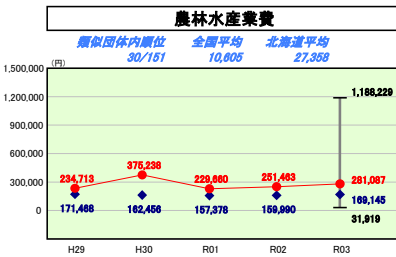
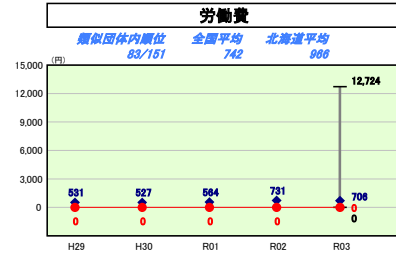
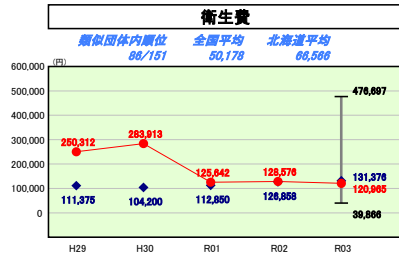
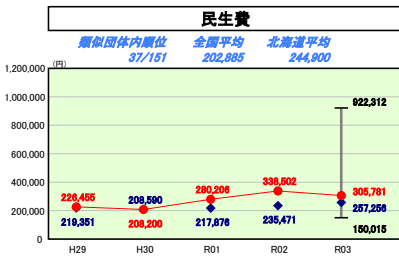
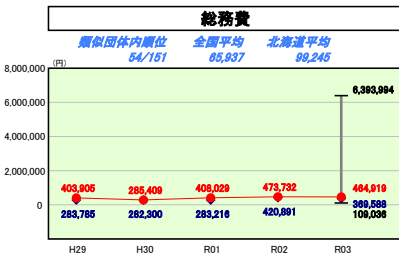
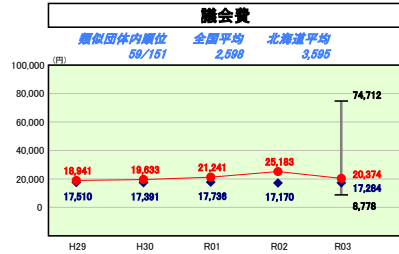
令和3年度

北海道幌延町

人口	2,240人(※4.1.1現在)	実収赤字比率	-%
うち日本人	2,217人(※4.1.1現在)	繰上実収赤字比率	-%
世帯	574.10世帯	実収公債費比率	6.3%
歳入総額	5,023,255千円	将来負担比率	-%
歳出総額	4,789,757千円	市町村類型	H29 I-O H30 I-O R01 I-O
実収収支	134,188千円	(年度毎)	R02 I-O R03 I-O
標準財政規模	2,920,272千円		
地方債現在高	3,190,020千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和3年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



目的別歳出の分析

総務費は、住民一人当たり464,919円となっており、類似団体と比較して一人当たりコストが高い状況となっている。これは、基金管理事業の増額によるものであり、前年度決算と比較すると1.9%減となっている。しかし、当該事業は、翌年度以降の持続可能な地域公共交通の実現に向けた施策等の経費に対する財源確保のために基金を積立したものであり、懸念すべき状況ではないと思われる。